

岩井 大 ファンクラブ機関紙(年4回発行)

発行者: 岩井 淑

住所: 〒262-0032

千葉県市花見川区幕張町4-2 LM3-104

連絡先: Tel:043-272-0825 Fax:043-272-0825

URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~ku-chan/index.htm>

Mail: iwai-8man8@marble.ocn.ne.jp

ファイト

No-25

通算戦績: 20戦16勝(5KO)3敗1分

2014年を振り返って 3戦3勝! 通算7連勝! 日本8位・東洋12位

今年の最大の戦績は3戦3勝。通算7連勝。フィジカルトレーニングの効果が表れだし、自分が目指すボクシングが出来るようになってきている。まだまだ発展途上だ。来年(2015年)は大にとって更なる飛躍の年となるだろう。



2014.3.4.後楽園ホール

Shuku Iwai

3月4日、石川昇吾選手 8ラウンド判定勝利

体幹がしっかりしている石川選手は思いっきりパンチを振ってくる。1ラウンドはイーブン。2~3ラウンドは石川選手の攻勢だった。

大は中々エンジンがかからなかったが、4ラウンドの入ると徐々に上がってきて左ジャブが的確に決まりだす。左ボディ、右アッパー、右ストレートも次々決まりプレッシャーも強くかけるようになったが、5ラウンドに右頬をバッティングでカット。幸いにも傷は浅かった。

大のリングパホーマンスは増々調子を上げ、接近戦でも石川選手を圧倒します。石川選手も6ラウンドに右頬をバッティングでカット。石川選手の形勢は増々悪くなっていくのが判然としてくる。7ラウンドに入ると石川選手は口を開け体力の消耗が激しい。8ラウンドも大の攻勢は止まず、結局、3人のジャッジの判定は3:0(78-74,78-74,78-75)で大の快勝だった。



2014.6.25.後楽園ホール

Shuku Iwai

6月25日、伊藤圭太選手 8ラウンド判定勝利

伊藤選手も体幹がしっかりしておりパンチを強振してくる。下手にパンチをもらおうと吹き飛ばされるような攻撃が1ラウンドから展開された。その圧力に戸惑っているような大のスタートだった。その流れは2ラウンドも続いたが、3ラウンドから大の本来のジャブを主体とした左右ボディ、アッパー、ストレートの動きが出てきて、それ以後、パンチは面白いように決まりだし4ラウンドを終了してイーブンに戻した。

5ラウンドに入ると伊藤選手の疲れがはつきりと表れて来たが、打たれても打たれても前進しながらパンチを強振してくる姿は敵ながら天晴れとしか言いようがない。6~7ラウンドも大のパンチは的確にヒットするが鼻血を出しながら前進してくる対戦相手に大は打ち疲れたようだった。最終8ラウンドは驚異の粘りで打ち合いに出て来た伊藤選手が盛り返した形となり、結局、3人のジャッジの判定は2:1(77-75,77-75,76-77)で大の判定勝ちだった。



2014.12.8.後楽園ホール

Boxing News

12月8日 小山拓見選手 8ラウンド負傷判定勝利

スタート早々の1ラウンドから大の右ストレートが火を噴いた。小山選手はダウン。実にタイミングの合ったパンチだった。これまでの大の試合は1~2ラウンドは様子見だったが、今回はスタートから積極的に左ジャブを打つ戦法に変えた効果が早くも出た結果だった。2~3ラウンドもジャブを主体に試合ペースを着実にコントロールしていたが、4ラウンドにバッティングで右頬を切ってしまった。

右頬カットの影響が出て5ラウンドは小山選手の反撃を許したが、6ラウンドから左ジャブを主体とした前半のスタイルに立ち戻り、決して試合ペースを相手に渡さなかった。8ラウンド1分過ぎに3度目のドクターチェックが入り、大は試合続行を主張したが右目に血が入っていたためドクターストップで試合終了となった。

3人のジャッジ判定は3-0(78-73, 79-74, 79-73)で、文句のない大差判定勝ちで、実に安定した戦い方だった。



おやじのひとこと



大のボクシングテクニックはテレビ解説者も認めるとおり、文句なく一級品だが弱点はメンタル面だ。そのことは本人も自覚していると思う。第三者から見ると、なぜ躊躇するのか分からない時があるが、それはメンタルの弱さの表れだ。いかなる試合でも自らの力をいかに発揮することが出来るかは自己精神の安定にあるのだが、それは日常的な強度のトレーニングの蓄積が自信となり、内部の安定をもたらす外部に強さとして現れ出すものだ。大のようにストイックな生活を送り、ボクシングに真摯に取り組んでいる人間が弱いわけはない。もっと自信を持っていいし、君は強いのだ！前進しよう！